

## 小型汎用コンバインの 子実用トウモロコシ収穫キット

近年、水田転換作物として子実用トウモロコシの生産が拡大しています。北海道や東北地方などの大規模生産地では外国産や国産の大型の普通コンバインに専用のコーンヘッド等を利用して収穫が行われています。しかし、中小区画のは場が分散している中小規模生産地で利用される小型汎用コンバインは子実用トウモロコシに適応していませんでした。そのため、子実用トウモロコシ収穫時の刈取り性能・脱穀性能を向上させる小型汎用コンバイン用の収穫キットを開発したので紹介します。

### ☆ 技術の概要

1. 本キットの専用リールタイン、ディバイダガイド、ヘッドガイドは刈取り時の頭部損失を低減させることができます（写真1）。
2. 本キットのコンケーブ追加プレートとロータ用抵抗プレートは脱穀性能を向上させ、ファン回転変更用プーリは選別性能を向上させ、ロータ駆動プーリは子実の損傷を低減させます。以上の部品により脱穀選別性能を向上させます（写真2）。
3. 本キットを利用した「ニューデント100」の収穫作業では、刈高さ60cmで収穫作業速度0.4～1.0m/sの場合、頭部損失0～2%、脱穀選別損失0.2～1.5%程度であり、1時間当たり20aの収穫が可能です。

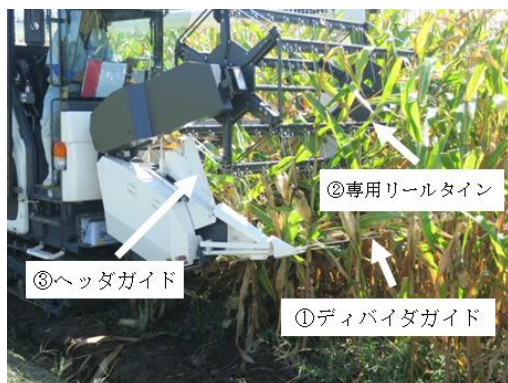


写真1 ヘッド部分の部品

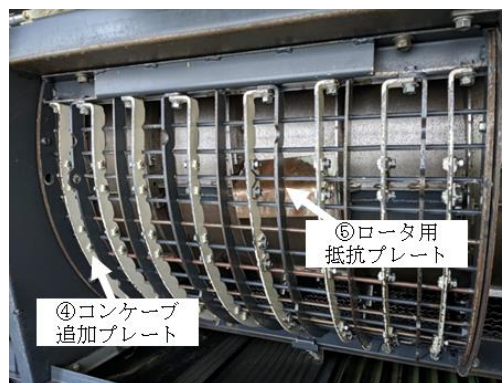


写真2 脱穀部の部品

### ☆ 活用面での留意点

1. 三菱マヒンドラ農機株式会社より小型汎用コンバイン VCH750 のオプション「コーンキット (K-VCH75COR)」として、ロータ駆動プーリは「ハトムギキット (部品扱い)」、ヘッドガイドは「ガイドキット (K-VCH75CORG)」として販売中です。子実用トウモロコシの収穫作業にはこれらのキットとともに「標準共通キット (K-VCH75K)」が必要となります。
2. キットの取付けは生産者が自分で行うことも可能です。

(農研機構 中日本農業研究センター 水田利用研究領域 加藤仁)